

洪水期を迎えるにあたって

風薫る5月も過ぎ、三春ダムでは6/11～10/10を洪水期と定め、洪水調節のための容量を確保しました。

また、洪水時にはダムの機能が十分に発揮できるよう各種の設備操作演習や点検作業を実施しているところでもあります。

三春ダム流域では、ここ数年大きな洪水は無いものの、全国では総雨量1,000mmを越す大雨や時間雨量100mmを越える降雨が頻発し大きな被害を受けており、三春ダム流域においてもこのような洪水が発生する可能性があります。

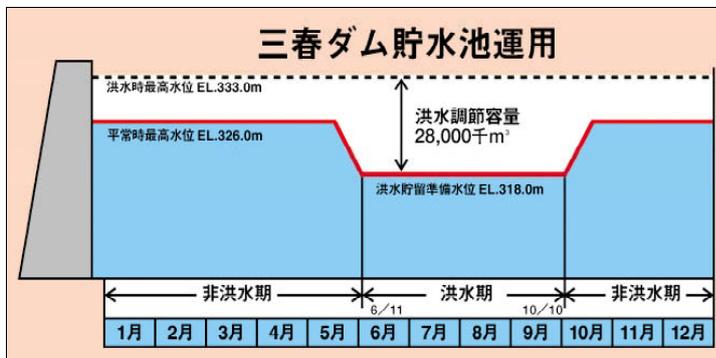
このような、豪雨の際においても被害に遭われることのないよう、ダムの適切な操作及び関係機関との連携により情報提供を行うなど万全の体制で対応に努めてまいります。



さくら湖全景

■ 洪水期に備え、貯水位を下げました。

6月11日から10月10日の期間を大雨により洪水の発生しやすい時期として「洪水期」と定めております。この期間は洪水調節容量を確保するために貯水池の水位を制限水位まで下げ、大雨による洪水に備えます。



三春ダムでは、洪水期を迎えるにあたり洪水調節容量を確保するため、5月15日～6月10日にかけて上流に降雨が無い場合でも放流量を最大で毎秒15m³程度まで増量し、貯水位を平常時最高水位EL326mから洪水貯留準備水位EL318mまで下げ、洪水調節容量28,000,000m³を確保しました。

洪水時最高水位：通常、洪水調節に使用する最高の水位

平常時最高貯水位：平常時ダムに貯められる最高の水位

洪水貯留準備水位：梅雨や台風などによる洪水に備え、洪水調節容量を確保するため平常時最高貯水位から梅雨前のある水位まで低下させた水位

放流通報連絡会 開催

4月24日(金)三春ダム管理所において、放流通報連絡会を開催しました。

この放流通報連絡会では、三春ダムからの放流等の情報を確実及び円滑な伝達により河川での災害・事故防止を図るために三春町・郡山市のダム下流沿川の市町村・河川管理者・警察・消防組合・三春ダムで構成された組織の担当者が出席し、洪水期前に連絡体制及び洪水対応演習の内容の確認を行いました。



洪水対応演習 実施

国土交通省では、毎年5月を「水防月間」として定めており、梅雨、台風等による出水期を迎えるこの時期に、全国一斉に「洪水対応演習」を実施しています。

今年も5月13日に洪水対応演習を行いました。

演習当日は三春ダムで想定した洪水に基づき、放流設備の操作訓練や関係機関への情報伝達、下流河川のパトロール、放流設備の点検などを実施しました。

阿武隈川流域では、今後洪水が発生しやすい時期を迎えますので、放流に関するサイレンや放送等に注意し、河川の増水には十分に気を付けて頂くようお願いいたします。



GW前安全利用点検

三春ダム周辺は、親水施設等が整備され、レクリエーション活動の場として多くの人々に利用されています。毎年利用者が増加するゴールデンウィーク期間前に、さくら湖周辺の公園や親水施設を安全に利用していただけるように、点検や不具合箇所の補修を行っています。

今年は、4月14日(火)から4月15日(水)にかけて、19箇所の公園や施設等で安全点検を実施しました。点検の結果、さくら湖周辺の公園や親水施設ではベンチの基礎の破損や転落防止柵の部破損等が確認され速やかに応急措置を行いました。

今後は、利用者の増加する夏休み前に再度安全点検を実施することを予定しており、これからも、施設を利用する方々が安全で快適に利用出来るように点検・維持管理に一層心がけていきたいと思えます。



さくら湖の水質保全

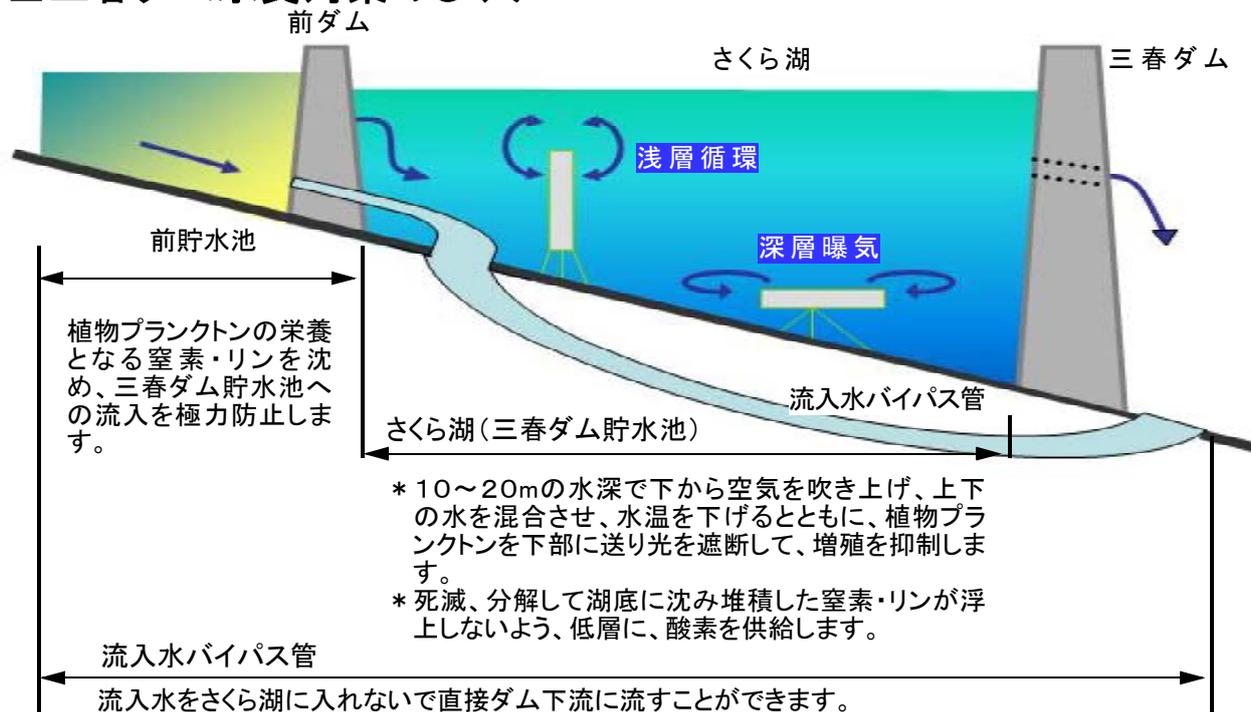
— 浅層循環施設稼働開始 —

三春ダムでは、水質悪化となる植物プランクトンの異常発生を防ぐために、様々な水質保全対策を実施しています。その中の一つの浅層循環施設が今年も4月13日から稼働を始めました。

植物プランクトンは異常増殖するとアオコとなり水にカビの臭いを付けたり、濾過装置などの目詰まりの原因となってしまいます。植物プランクトンが成長するためには、植物と同じように「栄養」「光」「水温」の3つの条件が必要になります。この浅層循環施設は、さくら湖の水温が12℃以上になると水深10～20mの位置で空気を吹き上げ、さくら湖の水を循環させることで表面の水温を下げ、また、植物プランクトンを光りの届きにくい下層に送り込み植物プランクトンの増殖を抑制する働きをしています。

- | | | |
|-------------------|---|----------|
| ①川に入ったSSや栄養塩を減らす | → | 前貯水池 |
| ②できるだけダム湖に栄養を入れない | → | 流入水バイパス管 |
| ③光を減らし、水温を下げる | → | 浅層循環 |
| ④湖の底の方に酸素を供給する | → | 深層曝気 |

■三春ダム水質対策のしくみ



さくら湖でブクブクして見える白い泡の様なものが浅層循環施設で、空気を吹き上げ水を循環しているところです。

さくら湖には5機設置しています。

さくら湖流域協働ネットワーク

さくらの里クリーンアップ作戦 開催

平成21年4月11日(土)三春ダムさくら湖周辺において「さくらの里クリーンアップ作戦」が行われました。平成20年8月に設立した“さくら湖流域協働ネットワーク”の記念すべき第1回目の活動には、ネットワークの会員の他さくら湖流域の方々など子供から大人まで約130名が集まり、さくらの公園や向山森林公園、石畑水生生物観察園などさくら湖周辺の清掃活動を行い、ペットボトルや空き缶、発泡スチロールの箱などたくさんのゴミを集めることができました。

当日は初夏を思わせるような天気にも恵まれ、咲き始めた桜の花を見ながら約1時間の活動を行いました。

また、活動後には三春ダムの見学会も行われ、三春ダムの概要の他、ダム内部や資料館の見学が行われました。



ことしの滝桜

国指定天然記念物で日本三大桜の一つ「三春の滝桜」が、今年は昨年より3日早く4月10日に開花し、14日に満開となりました。今年は、滝桜のライトアップが4月17日～19日の3日間、6時から9時までの間行われ、昼夜を問わずたくさんの観光客でさくら湖周辺は賑わいました。ライトアップされた滝桜は、その名の通り滝が流れ落ちる様子が夜空によりいっそう映え、何とも幻想的で妖艶な迫力ある姿に、訪れた人々もしばらくの間見入っていました。



満開の滝桜 撮影4月14日



ライトアップされた滝桜 撮影4月17日

俳句ポスト作品紹介

山里に
ひらりひらりと
桜舞う

水きらら
春のさくら湖
のどかなり

さくら湖に
つばめ飛び交い
さくら舞う

編集・発行

国土交通省 東北地方整備局 三春ダム管理所

～皆様からのご意見や情報の提供をお待ちしております～

〒963-7722 福島県田村郡三春町大字西方字中ノ内403-4

TEL 0247-62-3145 / FAX 0247-62-3170

ホームページアドレス <http://www.thr.milt.go.jp/miharu>